

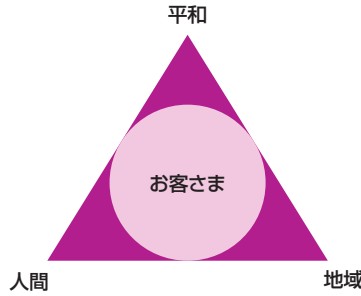
## イオンモール 2004 環境レポート



## 〈イオンの基本理念〉

イオン(AEON)とは、ラテン語で「永遠」をあらわします。

私たちの理念の中心は「お客さま」：イオンは、お客さまへの貢献を永遠の使命とし、最もお客さま志向に徹する企業集団です。



「平和」：イオンは、事業の繁栄を通じて、平和を追求し続ける企業集団です。

「人間」：イオンは、人間を尊重し、人間的なつながりを重視する企業集団です。

「地域」：イオンは、地域の暮らしに根ざし、地域社会に貢献し続ける企業集団です。

## 企業の社会的責任は、地球規模で永久に取り組むべき課題



イオンモール株式会社  
代表取締役社長  
川戸 義晴

当社は、自然や環境問題への取り組みをはじめ、ベストグッズの提供を通じて、「この地域にイオンショッピングセンター(SC)があってよかった」とお客さまに喜んでいただける店舗をめざしています。

ショッピングセンターの開店に際し、約3分の1にあたる店舗に、地元商店に優先して出店いただくなど、地域の雇用確保に大きな貢献をしていると自負しています。昨今の雇用情勢の変化により就労者数が著しく減少する傾向にある中で当社の事業では、1SCで周辺を含め約2,500人の雇用を創出し、主婦や高齢者など幅広い人々が就業の機会を得ることができています。

その一方、販売活動により地域にさまざまなごみなども大量に発生します。また、近隣の市町村からも大勢のお客さまがSCにいらっしやることで車の排ガスが放出され、大気汚染への懸念も出てくるでしょう。しかし、少し広い視点で考えてみると、

車で遠くにあるそれぞれの店に買い物に出ると、さらに多くの排ガスを放出する可能性もあります。あるひとつの事象だけを取り上げるのではなく、地域の発展と環境配慮のバランスを総合的に考えながら環境への負荷を下げると同時に社会的な側面も考慮していくことが重要だと考えています。

例えば、植樹祭に参加していただくことなどでお客さまにも環境問題に関心を寄せていただき、協力して解決の糸口を探していけます。

当社の最終目標は、クリーンエネルギー導入によるエコモールです。また、ごみを資源化するゼロエミッションを徹底することは、地域に進出するときに果たすべき社会的責任のひとつでもあると考えています。すでに企業が地域で活動するためには、環境問題を無視しては成立し得ない時代です。

こうした背景から、今後の展望を明らかにするために、当社ではイオンモールSR会議(Social Responsibility：社会的責任を遂行する会議)を発足し、「社会」「環境」「コンプライアンス」の視点での企業活動を進める委員会を設立しました。社会貢献や環境保全、イオン行動規範を準拠して活動を続けていきます。その取り組みの成果やサステナビリティ(持続可能性)への推進内容をまとめたものが、この「環境レポート」です。ぜひ、レポートをご覧くださいました皆さまからご意見、ご指導をいただければ幸いに存じます。

併せて別紙「笑顔の街づくりレポート」もご覧ください。

2004年6月

川戸 義晴

## 目次

- イオンの基本理念・社長メッセージ・目次 .....1
- イオン行動規範・イオン環境理念・イオンモール環境方針・編集方針・対象範囲 .....2
- 環境影響・環境法規制・物質収支 .....3
- 環境マネジメントシステム .....5
- ゼロエミッション .....7
- 地球温暖化防止・省資源 .....9

- 環境会計 .....11
- リスクマネジメント .....12
- 環境教育・環境コミュニケーション .....13
- ショッピングセンター(SC)のご紹介 .....14
- 会社概要データ .....22

イオンは、次代のイオンをより確かなものにするため、「イオン行動規範」を制定しました。  
これはイオンの基本理念・イオン宣言を中心に「新しい時代のお客さま」のため、私たちのとるべき行動を示したものです。

## 〈イオン行動規範(抜粋)〉

### 【宣言】

- 一、イオンピープルは、常に多くの人々から支えられていることに感謝し、ひとときも謙虚な気持ちを忘れません。
- 一、イオンピープルは、人々との信頼をなによりも重んじ、いかなる時も正直で誠実な行動を貫きます。
- 一、イオンピープルは、お客さまの期待を感動に高めるため、常に自らを磨きます。
- 一、イオンピープルは、イオンの理想を実現するため、ためらうことなく変革への挑戦を続けます。
- 一、イオンピープルは、地域の発展を願い、よき企業市民として社会への奉仕につとめます。

### 【お客さまへの誓い】

イオンは、「すべてはお客さまのために」の視点で行動し、お客さまの日々の暮らしに密着した「安心」と「信頼」を提供します。  
イオンは、お客さまの生活文化に貢献することを永遠の使命とします。

### 【パートナーとイオン】

#### ●地域社会とイオン

イオンは、企業市民として、地域の人々とともに、地域社会の発展と生活文化の向上に貢献する代表的な企業を目指します。

#### ●取引先とイオン

イオンは、「お客さま満足」の実現のため、革新的な経営に挑戦する取引先を尊重します。そして公正な取引を通じ、対等なパートナーとして、お互いの繁栄を目指します。

#### ●株主とイオン

イオンは、革新的で健全な経営につとめ、経営のパートナーである株主の皆さまに、高い株主利益を実現します。

### 【イオンピープルとともに】

「お客さま満足」を実現するにあたって、私たちが大切にしなければならないこと、それは、ゆるぎない人間関係と働きがいのある職場の実現です。働きがいのある職場がなければ、お客さまの満足も実現することは出来ません。それは、私たち一人ひとりが創っていくものです。

## イオン環境理念

私たちイオンは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というグループ理念のもと、企業市民としての社会的責任を果たすため、社会貢献活動と環境保全活動を積極的に推進していきます。同時に私たちは、これらの活動が地域に根ざしたものであると認識し、地域の方々とのパートナーシップを育み、循環型社会の構築を目指します。

## イオンモール環境方針

イオンモール株式会社は「どこよりも美しく、楽しく、親切なショッピングセンター」づくりをめざすショッピングセンター事業および「お客さまの安心とゆとりのためのリスクマネジメント」を推進する保険代理店事業を柱とし、お客さまの安心、安全の確保を当社の事業活動の基本としています。

私たちイオンモール株式会社は環境保全活動の推進は当社の社会的責務であると考え、以下のとおり環境方針を定め、その履行に努めてまいります。

- 1、お客さまをはじめとするパートナーさまの生活環境の向上と、地域社会の発展と環境保全に貢献します。
- 2、環境法規制や当社が受け入れを決めた要求事項を遵守いたします。
- 3、環境マネジメントシステムを構築し、事業部門ごとに目的・目標を制定し汚染を予防する体制を築き、継続的な改善を推進します。
- 4、地球温暖化防止のため、CO<sub>2</sub>排出抑制をめざします。
- 5、地球資源を保全し、循環型社会の構築をめざします。
  - ①ショッピングセンター部門は、可能な限り廃棄物のリサイクルと廃棄物の発生抑制を推進し「ゼロ エミッション ショッピングセンター」をめざします。
  - ②保険及び本社・管理部門は「紙の削減」をはじめ、循環型社会の構築に配慮した業務活動を推進します。
- 6、この方針を当社従業員に周知するとともに、当社の環境情報を公開いたします。

2004年2月26日

イオンモール株式会社 代表取締役社長 川戸 義晴

## 編集方針

イオンモール2004「環境レポート」は、環境保全の取り組み実績と理念をよりわかりやすくご理解いただけるよう作成しました。また、当SC及び専門店従業員啓発も目的としています。なお、本レポートは「環境報告書ガイドライン(2003年度版)」(環境省)を参考にしながら、イオンモールの2003年度の活動実績を中心に記載しています。

尚、当SCに属するイオン及びイオングループ各社の環境保全活動は「イオン環境・社会報告書2004」を参照下さい。

問い合わせ先 イオン株式会社 環境・社会貢献部  
TEL 043-212-6037 FAX 043-212-6790  
イオンホームページ <http://www.aeon.info/>

## 対象範囲

- 対象組織：本社、全国16のショッピングセンター、保険・営業所
- 対象期間：2003年2月21日～2004年2月20日  
(盛岡SCは、ソフトオープン(2003年8月7日から太田SCは、2003年12月3日からとなります))
- 対象分野：主に環境保全に関する側面
- 発行日：2004年6月
- 次回発行予定：2005年6月

※ 本報告書では、パートナーの皆さまはすべて敬称略とさせていただきます。